S A M E G A W A

さめがわ

[広報] 鮫川村広報誌

No. 599
平成16年3月1日発行
MARCH 2004
3

特集

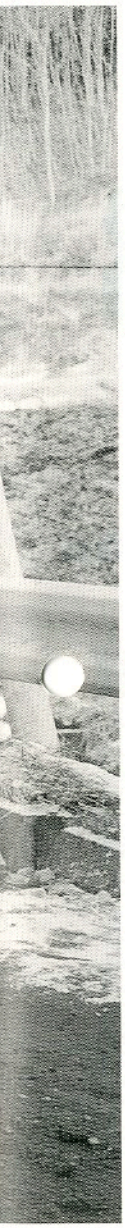
郷土を愛する若者たち
地域への恩返し。



■クローズアップ
里山まるごと体験学校が全国表彰

■行政情報
米政策が変わります
住民異動シーズン。届け出をお忘れなく

[表紙写真]
菅生の郷自然学校まつり
(9ページに関連記事)



地域への恩返し。

【特集】郷土を愛する若者たち

自分たちの地域は自分たちで・・・

暖冬とはいえ、朝晩の冷え込みが厳しい二月。そんな日曜日の朝、路上で作業に励む若者たちの姿があった。西山青年会（阿久津智典会長）のメンバー（以下、「若者たち」と呼ぶ）である。

この時期、路面の凍結が村内でも多く見受けられる。西山地区も例外ではない。歩行者や車の通行に危険が生じる。

「俺たちで何とかしよう」。若者たちは、スコップやつるはしを使って厚さ十センチほどもある氷を砕き、取り除く作業をしていたのだ。その作業は、若者といえども容易なものではない。こうした作業を二月八日に折戸地内、十五日には岩野草入り口付近で行った。

「私たちを育ててくれた地域に恩返しをしたい。また、自分たちが住む地域ですから、できることは自分たちでやろうと、みんなで決めたんです」と阿久津会長。

幼少のころから地域の人々の温かさに接し、青年会活動でも盆踊りなどに多くの区民の協力を得ている。そんな地域の恩に報いるために何かできないか、若者たちはそう考えたのだ。

昨年十一月、西山地区の全世帯にチラシを配布した。内容は、地域内の除雪や草刈り、一人暮らしの高齢者の手助けなど、要望に応じて作業を手伝うというものだ。

西山区長の松崎清次さんは、「区民も感心しているし、区長としても感謝しています。こうした活動が地域全体に広がればいいですね」と若者たちの活動を高く評価する。

自分たちの地域は自分たちで——そんな若者たちの行動が、地域の人たちに勇気と元気を与えているに違いない。

俺たちは地域に育てられた。
今度は俺たちが恩返しをしたい。



「地域に恩返しをしたい」と奉仕活動を行っている西山青年会の皆さん。



つるはしを使って、厚さ約10センチもある氷を砕く。その作業はかなりの労力を要する。



「できることは自分たちでやろう」と、寒さが厳しい早朝から黙々と作業を進める会員たち。

郷土を愛する若者たち

【クローズアップ】里山まるごと体験学校が全国表彰

里山景観保全活動に高い評価



大自然に囲まれた「ほっとはうす・さめがわ」を拠点に活動を展開している体験学校



表彰状を手にする葉貫夢プロジェクトの三瓶稔さん

都市住民と地元の連携

村では、都市住民（主に東京農業大学）と葉貫夢プロジェクト（三瓶正志代表）などの協力を得ながら、景観保全活動「里山まるごと体験学校」（以下、体験学校）を村交流施設「ほっとはうす・さめがわ」周辺を中心に実施しています。

この取り組みが、農林水産省主催の「平成十五年度田園自然再生活動コンクール」で、百団



体を超える応募の中から「パートナーシップ賞」に選ばれました。この賞は、多様な主体が連携して取り組んでいる活動に贈られる賞で、葉貫集落内の各組織や都市住民、地元農家などが一体となった活動が高く評価されたものです。

同コンクールの表彰式は一月二十三日、東京都築地の浜離宮朝日ホールで行われ、体験学校を代表して葉貫夢プロジェクトの三瓶稔さんらが出席。財団法人日本グラウンドワーク協会の都留信也理事長から三瓶さんに表彰状が手渡されました。

「地域の魅力」復活へ

体験学校は、耕作放棄地の増加や山林の荒廃などにより年々悪化する「里山の景観」を復活させ、地域の魅力を高めようと平成十二年度にスタート。これまでの活動参加者は、東京農業大学の学生を中心に延べ約四百五十人で、農作業や山林の手入れをはじめ、休耕田を利用した水生昆虫の観察沼の整備や景観作物の栽培、炭焼き、散策路の整備など、里山の自然環境を生かしたさまざまな活動を、年間を通じて行っています。



地元の人たちの指導を受けながら、農作業に励む参加者



収穫したもち米でもちつきを楽しむ東京農業大学の学生たち



参加者たちの手によって、きれいに整備された雑木林



炭窯づくり体験をした参加者

平成16年度から 米政策が変わります。

●問い合わせ　村農林課農政係☎49-3114

平成十四年十二月、国は「米政策改革大綱」を決定し、平成二十二年度までに「米づくりの本来あるべき姿」の実現に向けた米政策改革を行うことにしました。

米づくりの本来あるべき姿とは「どんな米が消費者に喜ばれるか」「どうすれば地域が豊かになり、安定した農業経営が続けられるか」などを地域で話し合い、その実現を目指す米づくりをいいます。

この大綱に基づき、次の三つの基本的な考え方によって米政策が推進されることになります。

①主体的で効果的な需給調整を進める（生産者自らが考えて行う生産調整）。

②生産構造を改革するため、担い手を育成する（認定農業者への農地の集積）。

③需要に見合った「売れる米づくり」を進める。

これからは、生産者自らが米を「どこに」「どれだけ」「いくらで」売るかを常に意識しながら、地域に根ざした米づくりを目指すことになります。

平成十六年度からの変更点は次のとおりです。

「作らない面積」から「作る量」に

平成十五年度までは、米を作らない面積（転作面積）が配分されていましたが、平成十六年度からは米を作る数量と数量を面積に換算した作付面積が配分されます（鮫川村の配分＝約二千九十㌧、四百二十八㌶）。

つまり、平成十六年度から始まる米政策改革では、これまでの「〇〇〇㎡の転作が必要です」という配分方法から「△△△kgまでの米の生産が可能です」という方法に大きく転換されるということです。

生産調整の確認は、農業共済組合の水稲共済引受面積などを参考に行います。

平成20年度には農家・農業者団体が主体に

今後三年間を制度の移行期間とし、平成十九年度または二十年度には国の指針を参考にしながら、農家・農業者団体が主体となって米の生産量を決めることになります（村からの配分はなくなります）。

村では、これらを推進するため、「鮫川村地域水田農業推進協議会」を設置しました。

協議会では、水田農業ビジョン（米の生産量、転作で振興する作物、担い手をだれにするかなどをまとめた計画）を作成し、新たな水田農業の実現を目指します。

産地づくり交付金が国から交付されます

転作助成金（とも補償）がなくなり、国から村協議会に水田農業構造改革交付金（産地づくり交付金）が交付されます。農家が産地づくり交付金を受けるためには、次の要件があります。

①生産調整実施者（達成者）になること。

②生産調整方針に参加し、豊作で米が余った場合の「集荷円滑化対策」に加入すること。

新しい会長に森満さん（楢久保出身）

第18回東京鮫川会総会は１月25日、東京都の新宿住友ビルで行われ、新しい会長に森満さんが就任しました。

会員・村関係者など75人が出席。総会では、平成15年度事業報告および収支決算承認、平成16年度事業計画および収支予算について審議されたほか、任期満了による役員改選が行われました。

総会終了後、新年会が和やかに催され、ふるさと談義に花を咲かせながら、親ぼくを深め合いました。

新しい役員は次のとおりです（敬称略）。

▶会長…**森満**（新・東京都杉並区在住・赤坂東野字楢久保出身）▶副会長（２名）…**茨木勇**（再・東京都大田区在住・西山字大沢出身）**阿久津芳雄**（新・埼玉県川越市在住・赤坂東野字蕨ノ草出身）▶監事（２名）…**関根貞夫**（再・神奈川県川崎市在住・西山字西野内出身）**中井邦雄**（再・東京都足立区在住・赤坂東野字広畑出身）



ふるさと談義に花が咲いた新年会

あなたの地域を桜の名所にしませんか

東京鮫川会では、ふる里鮫川村に桜の名所をつくるため、「桜の苗木寄贈事業」を行っています。昨年は、赤坂東野字葉貫地内の「ほっとはうす・さめがわ」周辺に寄贈しました。

この事業を全村に広げ、地域づくりに役立てていただきたく、植樹・管理をしていただく地域づくり団体や集落などを募集し、５万円分の苗木を寄贈します。

なお、年１回の事業のため、応募多数の場合は年次事業として継続していきます。

■申し込み・問い合わせ　事務局（村企画調整課内）☎49-3115

３月・４月は住民異動シーズン

届け出をお忘れなく

●問い合わせ　村住民福祉課住民係☎４９-３１１２

三月から四月にかけては、転勤や就職、進・入学などにより住民異動が多くなります。この時期、初めて住所を変更する方も多いことでしょう。

正しい住所を届け出ていないと、選挙ができなかったり、国民年金や国民健康保険、児童手当などの給付が受けられなくなる場合があります。さらに、子どもの入学などにまで、さまざまな影響が出てきます。

下の表に該当する方は、届け出の種類に応じて必要なものを持参し、役場住民福祉課窓口で異動の手続きを行ってください。

また、国民健康保険や国民年金に加入している方は、保険証と年金手帳も忘れずに持参してください。

■住所変更などの主な届け出

こんなとき	届け出の種類	届け出に必要なもの	届け出期限
村外から移ってきたとき	転入届	□届け出人の印鑑 □転出証明書（前住所地で発行） □国民年金手帳（加入者のみ） □小・中学生がいる場合は在学証明書	本村に来てから14日以内
村外へ移るとき	転出届	□届け出人の印鑑 □国民健康保険証（加入者のみ） □印鑑登録証（登録者のみ） □転出先の住所が分かるようにしてきてください。	村外に移る前に
村内で住所を変更したとき	転居届	□届け出人の印鑑 □国民年金手帳、国民健康保険証（加入者のみ）	引っ越した日から14日以内
世帯主が変わったとき	世帯主変更届	□届け出人の印鑑 □国民健康保険証（加入者のみ）	変更した日から14日以内

1 NEWS

西山ほっとが熱戦制す（男女混成）

第5回鮫川村親善インディアカ大会

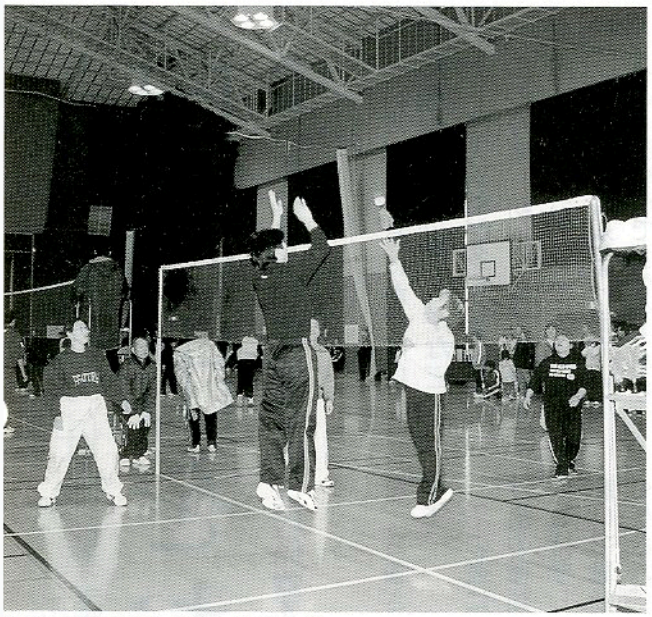
村体育協会主催の「第五回鮫川村親善インディアカ大会」は二月一日、農業者トレーニングセンターで開かれ、男女混成の部で西山ほっと、ファミリーの部で矢吹ファミリーが優勝を果たしました。

男女混成の部に二十五チーム、ファミリーの部に二チームが参加。男女混成の部は四ブロックに分かれて予選リーグを行ったあと、各ブロック一位チームが決勝トーナメントに進出し、熱戦を繰り広げました。

成績は次のとおりです。

▼男女混成の部…①西山ほっと②西山ぽんぽこ③西野ヤング③西山アンビシャス▼ファミリーの部…①矢吹ファミリー②下重・小松ファミリー

なお、二月二十二日に矢祭町で開かれた郡大会に男女混成の部の上位四チームが出場し、西山ほっとが優勝、西山ぽんぽこが三位入賞という輝かしい成績を収めました。



熱戦が展開されたインディアカ大会

2 NEWS

「広報さめがわ」が特選に

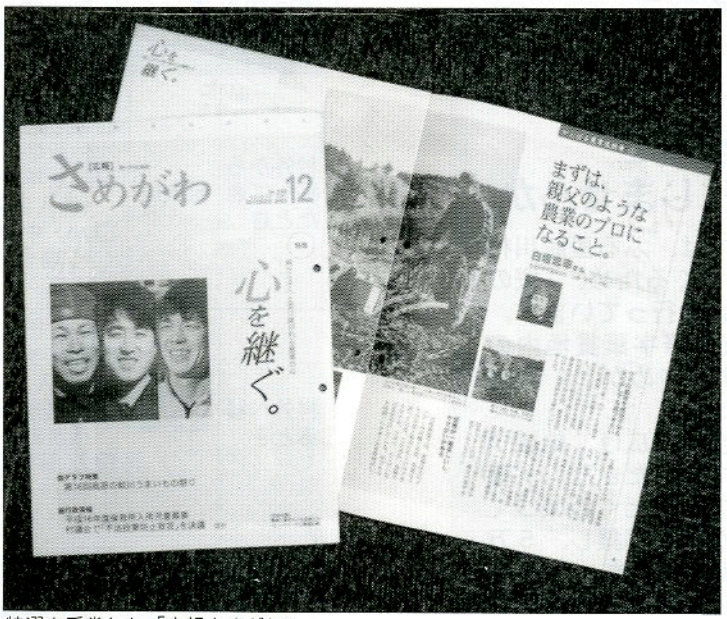
第49回福島県市町村広報コンクール

第四十九回福島県市町村広報コンクールの審査会は一月二十八日、県庁で行われ、「広報さめがわ」が広報紙の部（町村Ⅱ部）で最高賞の特選、写真の部（一枚写真）で佳作を受賞しました。

特選を受賞したのは、「心を継ぐ」と題し、農業後継者の特集を組んだ平成十五年十二月号。また、佳作に選ばれた一枚写真は、同十二月号二ページに掲載した白坂久幸さん・忠幸さん親子を撮影した写真です。

なお、特選を受賞した広報紙は、引き続き行われる全国広報コンクールに県代表として出品されます。

このたびの受賞は、村民の皆様をはじめ、各関係者のご支援、ご協力のたまものであり、紙面をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。



特選を受賞した「広報さめがわ」

3 NEWS

むし歯のない子は7人
1月29日実施の3歳児健診

一月二十九日に村保健センターで実施した三歳児健康診査で、むし歯がなかったお子さんは、受診児十二人中七人（五八・三％）でした（写真）。

次回の三歳児健診は、四月二十日（火）の予定で、平成十二年十二月から平成十三年一月までに生まれたお子さんが対象となります。

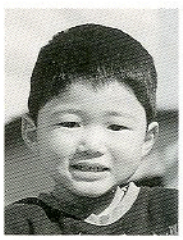

長井　優果ちゃん
渡瀬字青生野


三瓶　翼くん
赤坂東野字広畑


藁谷　愛ちゃん
赤坂中野字東前田


落合　遥生くん
西山字落合


長久保　睦ちゃん
富田字中沢


前田　俊彦くん
赤坂東野字宮代


近藤　風花ちゃん
赤坂西野字西

4 NEWS

東石チームが2度目の優勝
第5回クロリティー東白川郡大会

第五回クロリティー東白川郡大会は二月十八日、棚倉町中央公民館で開かれ、東石チームが二年ぶり二度目の優勝、西野チームが三位入賞を果たしました。

東白川郡老人クラブ連合会の主催で、郡内四町村から二十チームが出場。和気あいあいとゲームを楽しみながら、交流を深め合いました。

なお、第一回大会から五年連続で、村代表チームが優勝しています。


優勝を喜ぶ東石チームの皆さん

5 NEWS

体験活動や民話楽しむ
第2回菅生の郷自然学校まつり

第二回菅生の郷自然学校まつりは二月二十二日、富田字鍬木田地内の同自然学校で開かれました。

菅生の郷自然学校を作る会（鈴木一会長・会員八人）の主催で、県内各地から約百人が参加。わら細工や七輪陶芸、縄文式火おこし、薪（まき）割りなどの体験活動のほか、郡山市在住の語り部・穴澤修子さんによる民話、参加者全員による交流会など多彩な催しが繰り広げられ、参加者たちは楽しい一日を過ごしました。


縄文式火おこしに挑戦する参加者

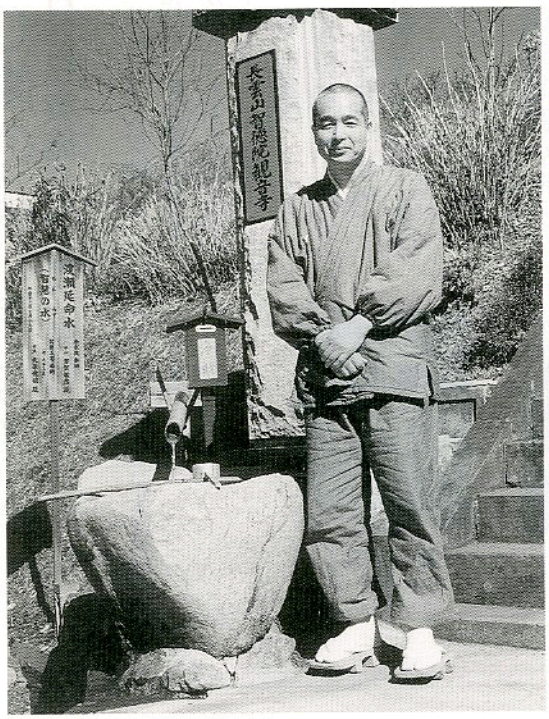
村民の皆さんが作るコーナーです。

みんなのページ

津田彰夫さん

A k i o　T S U D A

つだ・あきお●昭和25年２月生まれ。渡瀬字木之根在住。観音寺住職。趣味は歴史。好きな言葉は「誠実」。「これからは、お寺周辺の環境整備をしたい」と話す。



村民［随想］リレー ㊽

智慧（ちえ）の水「渡瀬延命水」

縁ありまして、渡瀬に十八歳で参りました。当時は国道二八九号線や圃場整備の事業が行われているころでした。地域の方々の温厚で純朴なお人柄に支えられ、幸せに暮らしております。

以前から不思議に思っておりましたが、渡瀬は長命な方が多い地域です。寿命の延びは、高齢者のがん・脳血管疾患などの診断・治療が進み、死亡率が改善されておりますが、それにしましても渡瀬は満百歳以上が実に四名、驚異的なことです。これには、健康管理が良いばかりでなく、さまざまな要因が積み重なっているように思われます。

古来より、渡瀬の象徴「山王山」の伏流水が、命の水として地域に恩恵を与えているように思います。この水を、智慧（ちえ）の水「渡瀬延命水」として山門脇に水を流し、来訪の皆様に喜んでいただいております。

地球環境問題が叫ばれている昨今、自然環境に恵まれているこの鮫川村、生命の源である水を絶対に汚すようなことをしてはなりません。そして、健康で明るい生涯を送りたいものです。もちろん最期は、ポックリ大往生です。合掌

次は、大森明美さん（渡瀬字青生野）にバトンタッチ！

俳句

軒下に大根干して冬支度　金沢　暁舟
懐しのじゅうねんみそや春祭　中井　恒峯
凍み餅の忘れ得ぬ味転任地　矢部　正子
家守る如くに増えし福寿草　山本　朗史
春立つや向いの屋根の照り返し　鈴木　友蔵
雪溶けの小径記憶を蹴りながら　斉須　信子
節分や豆撒く声の遠（おち）近（こち）に　小山田清哲
つま先に命ゆだねて枝を打つ　北條素人坂
病む鶏を数多葬れる寒の入　黒田　寿香
雪帽子のせ赤く映ゆ梅もどき　松本　精一
立春や姪の一言「また来るね」　山本　恵子
母子草いまだ子離れできずいる　鈴木　米子
寒の入干す大根の白さかな　前田　縫子
孫達と筆を並べて書き初む　小松ハルエ
派遣隊列征きて還らぬ兄が居る　山本五十鈴

短歌

人道支援にゆく自衛隊を勇気づけ国民こぞって送れぬものか　蛭田　浩市
親の背を見て子は育つともいうに同居さえせぬ世の現実は　大平　太平
蕗の薹和えものにして賜りぬふくよかな香は友の味なり　坂本　雪絵
心一つになれた孫らと写真撮りちょっぴり笑う正月の庭　蛭田　光江
長々と唯長らえて生きたしと願う日のあり欲なりしかな　芳賀　常夫
今居ない泥鰌小鮒を絵に書いて孫と語りぬ恵比須講だよ　前田　初
里帰り裏畑見れば荒らされて拓きし頃の労も消されぬ　根本　恵智

情報の泉

わくわく

WAKU－WAKU

催し

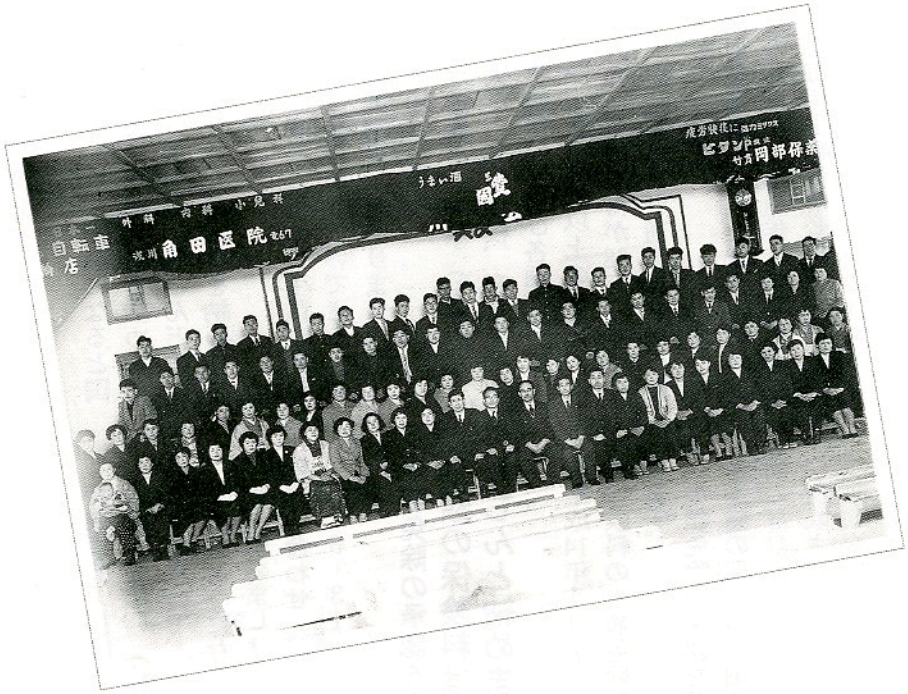
●**戸倉の里 福寿草まつり**　主催…戸倉の里づくり寄り合い／日時…3月27日(土)・28日(日)午前9時30分～午後2時／場所…西山字戸倉地内・福寿草群生地／内容…福寿草の観賞、特産品の直売、味噌汁・コーヒーの無料サービスなど／詳細…寄り合い用達人・関根☎0247-49-2488

案内

●**「引っ越し相談所」開設のお知らせ**　引っ越しシーズンのピークとなる3月・4月の2カ月間、福島県トラック協会では「引っ越し相談所」を開設し、電話などによる相談に応じます。引っ越しに伴うトラブルを防止するため、ぜひご利用ください。／相談時間…電話は月曜から金曜までの午前9時から午後4時まで、ファックスは終日／相談所の連絡先…福島県トラック協会郡山支部☎024-963-0780、FAX024-963-0781

●**住宅金融公庫から新型住宅ローンのご案内**　住宅金融公庫による証券化を活用した長期固定金利型の新型住宅ローンが民間金融機関から誕生しました。／最長35年の長期固定金利型、証券化により民間金融機関をバックアップ、住宅の「質」を確保、保証料・繰り上げ返済手数料が不要／詳細…住宅金融公庫東北支店☎022-227-5003、住宅金融公庫のホームページ…http://www.jyukou.go.jp/

地域の催しの案内、仲間づくりの呼びかけなど、掲載希望記事を募集しています。詳しくは総務課広報担当まで。



セピア色の思い出 ㊻

懐かしい成人式の思い出

昭和33年1月

提供／鷲野谷武志さん（富田字彦次郎在住・66歳）

昭和三十三年一月十五日、村公民館主催の成人式が行われ、当時の村公会堂で記念撮影をした四十六年前の懐かしい写真です。

かわいい赤ちゃんを抱いて出席した幸せそうな女性もいましたが、昨今の成人式では考えられない大変質素なものでした。

当時、学生だった私は詰襟姿で参加しました。感無量の思い出です。（鷲野谷）

マンションの窓に遥かなディズニーランド雲も長閑に浮かんでいるも　鈴木イミ子
森芳子
漬物の日和か畑の菜を洗う池に冬日の光りは満ちて　関根瑞恵
週二回医院通いも己がため馴染みの友と経過明かしつ　関根美津
夜勤より帰りし孫の朝食はわが手作りの一お袋の味一　水野珠子
保存食凍み大根を作りいる手はかじかみて朱色に染まる　本郷松子
良く冷える寒季は豊作を呼ぶという今年は如何に野草も青く　齋藤平四
夢に見る亡妻(つま)の動作のきびきびし畑作したる頃の若さを　関根キヌ子
ありありと戦争の記憶蘇る自衛隊イラク派遣決まりたる日　田中志乃
新年に咲きたる鉢の紅梅は子等帰りし後にほろと咲き初む　鈴木クニ
腰曲げて厨に立てるわれを見てコマーシャルの一品夫が作る　杉山磯子
雪の夜木の実ワインに酔う亡父(つま)を思い出しつつグラスに注ぐ　北條平
鴨の群れ白鳥を囲みくるくると必死に餌を横取りしている　松本一郎
公約(膏薬)は貼り替えなくては効かぬとか先生諸公もこんな処か　前田喜三子
美しき真白き富士に逢はむかと箱根に立ちて雄姿を仰ぐ　岡部シゲ
落葉焚く炎を見つつ何となく天女の羽衣思いて居りぬ　関根ハナヨ
初曾孫そっと抱き上げやわらかに頬を寄せればほのあたたかし　藤田千代子
努力して実った結果合格と電話で知らせる孫娘の声　鷲野谷満
うす墨の空より風に送られて舞いおりる雪下界を装う

お知らせ1

年金

ご存じですか 学生納付特例制度

学生の皆さんも、20歳になると国民年金に加入し、保険料を納めることになっていますが、ほとんどの学生は収入がなく、保険料を納めることが困難です。

そこで、安心して学生生活が送れるよう、保険料を後払いできる「学生納付特例制度」がありますので、ぜひご利用ください。

対象となる学生　大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校などに在学する20歳以上の学生で、本人の前年の所得が68万円以下の方（定時制および通信制課程も対象になります）

特例対象期間　4月（または届け出月の前月）から翌年3月までとなり、毎年手続きが必要です。なお、来年度以降も引き続き特例を受ける方は、4月以降5月末までに手続きしてください。

手続き方法　手続きは、住所地の市区町村の国民年金担当窓口で行うことになります。なお、学生納付特例期間の保険料は、10年以内であれば後払い（追納）することができますので、卒業後に収入が得られるようになりましたら、忘れずに納めましょう。

■**問い合わせ**　村住民福祉課住民係☎49-3112

半額免除の承認を受けた方へ 半額の保険料はきちんと納めましょう

平成14年4月から、新たに国民年金保険料の半額免除制度が始まっています。

半額免除の承認を受けた方は、残り半額の保険料を納めないと未納期間となり、年金の受給資格や年金額に反映されませんので、くれぐれもご注意ください。

なお、半額の保険料を納めた期間については、老齢基礎年金の額は全額の保険料を納めた場合の3分の2として計算されます。

■**問い合わせ**　福島社会保険事務局白河事務所☎0248-27-4164、村住民福祉課住民係☎49-3112

保健

老人性痴ほうについての研修会を開催します

主催　塙厚生病院老人性痴呆疾患センター

日時　3月13日（土）午後1時30分～3時（受付は午後1時から）

場所　塙厚生病院　4階会議室

対象者　▼地域の保健・医療・福祉関係者および民生委員▼痴ほうの高齢者をかかえる家族▼その他関心のある地域住民

研修内容　講演＝テーマ「老い・ボケを考える」（講師…塙厚生病院神経精神科長　大野芳義先生）

■**問い合わせ**　塙厚生病院相談室☎0247-43-1145

助成

芸術文化鑑賞奨励事業 申請は3月31日までに

村教育委員会では、芸術・文化的公演・展示などを鑑賞した方に、その入場（観覧）料の半額を年間1人2回まで助成しています。

平成15年度分の申請受付は3月31日（水）までとしますので、忘れずに申請してください。

対象　村内に住所があり居住する小学生以上の方が対象で、入場料などの額は3千円（高校生以下は2千円）以上とします。また、1回の奨励金は5千円を限度とします。

申請方法　申請書に入場券などの半券を添えて提出してください。

■**申請先**　村教育委員会教育課生涯学習係☎49-3151

役場の電話番号
0247-49-3111（代表）
ファクシミリ　49-2651

【直通電話番号】

総務課	49-3111
住民福祉課	49-3112 49-3113
農林課	49-3114
企画調整課	49-3115
建設課	49-3116
環境衛生課	49-3196
農業委員会	49-3197
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
公民館	49-2247
歴史民俗資料館	49-3106
農業者トレーニングセンター	49-3295
鮫川幼稚園	49-2358
学校給食センター	49-2113
鮫川保育所	49-2056
渡瀬保育所	48-2050
保健センター	29-1231
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555

ふくしま学習空間・夢まなびと連携講座の募集

6月から始まる、県民の皆さんの生涯学習を支援する仕組み「夢まなびと」（県民カレッジ）では、連携して講座を実施していただく機関・団体や企業、個人を募集しています。

応募方法　所定の申込書で応募してください。申込書は県ホームページからもダウンロードできます。

募集期間　随時受け付けます。

■**問い合わせ**　福島県教育庁生涯学習文化グループ☎024-521-7786、村教育委員会教育課生涯学習係☎49-3151

消防車の火災出動時のサイレンが変わります（消防署）

白河地方広域市町村圏消防本部管内の消防署（常備消防）の消防車が火災出動する場合のサイレンが、平成16年4月1日から次のように変更になります。

火災出動の場合　これまでの「ウーウーウー」が「ウーウーウーカンカンカン」の鐘併用に変わります。

救助など火災以外の場合　従来どおり「ウーウーウー」のままです。

■**問い合わせ**　白河地方広域市町村圏消防本部☎0248-22-2155

労使間のトラブルについて相談を受け付けます

福島県地方労働委員会では、賃金の未払い、退職強要、解雇、懲戒処分といった労使間の労働条件をめぐるトラブルについて、労使双方からの相談に応じています。相談は無料で、来所による相談のほか、電話やファクシミリ、電子メールでも受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

相談日時　毎週月曜日～金曜日　午前8時30分～午後5時15分

■**連絡先**　福島県地方労働委員会事務局（福島市杉妻町2-16、県庁西庁舎8階、☎024-521-7594、ファクシミリ024-521-7596、電子メールlocal-lab@pref.fukushima.jp

労災保険のことなら迷わずご相談を

財団法人労災保険情報センターでは、厚生労働省の委託を受けて労災保険制度全般の相談に応じています。相談は無料で秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

■**相談・問い合わせ先**　（財）労災保険情報センター福島事務所（福島市大町7-11　明治安田生命福島ビル内、☎024-521-3150、フリーダイヤル0120-054-370、ファクシミリ024-521-3144、電子メールz07-fukushima@rousai-ric.or.jp

税務職員（国税専門官）を募集します

仙台国税局では、次により税務職員の募集を行います。

試験内容　国税専門官（大学卒程度）

受験資格　①昭和52年4月2日から昭和58年4月1日までに生まれた者／②昭和58年4月2日以降に生まれた者のうち、大学を卒業した方および平成17年3月までに卒業見込みの者、または人事院が「①」と同等の資格があると認める者

受付期間　平成16年4月1日（木）～4月16日（金）

■**問い合わせ**　仙台国税局人事第二課☎022-263-1111（内線3236）

いきいき健康通信

文／村住民福祉課健康係　蛭田みゆき保健師

忘れていませんか？精密検査

皆さんにとって大切なものとは何でしょう。人それぞれだとは思いますが、「健康」と考える方も多いのではないでしょうか。健康は「病気にならない」「高齢になっても寝たきりにならないで今やっていることが続けられる」など、豊かで満足できる生活の質を高める基盤です。しかし、どんなに気を配っていても、病気（生活習慣病）はいつあなたに忍び寄ってくるかわかりません。そこで威力を発揮するのが健康診査（健診）です。

■健診を受ける目的とは

健診は自覚症状のない身体の異常を発見したり、自分の健康状態を知り、生活習慣を改善したりするための指標となるものです。しかし、一度の健診の結果だけでは体の中に病気の兆候があるかないかという大まかな判断しかできないため、異常が見られた場合には医療機関での精密検査が必要となります。つまり、健診を受けただけでは健康を守るには不十分だということです。村で実施した健診が終了してから半年が過ぎようとしています。健診を受けた方は、健診結果をうまく活用しているでしょうか。

■6割の人が放置

今年度の基本健診を受けた方は1、046人で、「異常なし」はわずか65人（6・2％）、何らかの異常があった方は981人（93・8％）でした。そのうち精密検査が必要な「要医療」と判定された方は男性232人、女性305人、計535人（51・1％）で、このうち精密検査を受けた方は、男性91人（39・2％）、女性182人（59・9％）、計213人（39・8％）です（平成16年1月26日現在）。昨年の結果（34・1％）と比べると精密検査を受けた方は多いようですが、それでもまだ、6割以上の方が放置してしまっていることになります。

■手遅れにならないうちに

「面倒だから」「病気が見つかったら怖いから」と理由はさまざまだとは思いますが、手遅れになってから後悔するより、病気の進行を防ぐことができる初期の段階で発見されたほうが良いと思いませんか。病気の早期発見のチャンスを逃さないように、まだ精密検査を受けていない方は、健診の結果と同封されているハガキを持参して、早めに医療機関で受診しましょう。

Book

図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介

※図書館改築工事のため、図書館業務は歴史民俗資料館で行っています。



びゅんびゅんごまがまわったら(宮川ひろ作、童心社)…使用禁止になってしまった遊び場を使えるように…と頼んだ子どもたちは、校長先生に「びゅんびゅんごまを回せたら」と条件を出されます。どんどん増えていくこまを回せるかな？



とるにたらないものもの(江國香織著、集英社)…「ケーキ」という言葉が喚起する甘くささやかな幸福のイメージ。ひっそりと輝く子どものころの記憶。日々慣れ親しんだものなどを通して、心地よい小世界を紡ぐエッセイ。

火	水	木	金	土
2 ●保健センター開放日(らっこくらぶ)…10:00～15:00[保] ●スポーツ教室(ミニテニス)②…19:00～21:00[トレセン]	**3** ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**4** ●保育所開放日(鮫川・渡瀬) ●英会話教室①…19:00～20:30[公]	**5** ●スポーツ教室(ミニテニス)③…19:00～21:00[トレセン]	**6**
9 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●スポーツ教室(ミニテニス)④…19:00～21:00[トレセン]	**10** ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**11** ●保健センター開放日(らっこくらぶ)…10:00～15:00[保] 英会話教室②…19:00～20:30[公]	**12** ●中学校卒業式	**13**
16	**17** ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**18** ●保健センター開放日(らっこくらぶ)…10:00～15:00[保] ●英会話教室③…19:00～20:30[公]	**19** ●心配ごと相談…13:00～15:00[公] ●農業委員会総会	**20** *春分の日* ㊡おおひら整形外科(棚倉町)☎33-9468 塙厚生病院(塙町)☎43-1145
23 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●各小学校卒業式、小・中学校修了式 ●図書館(資料館)休館	**24** ●中学校新入生一日入学 ●図書館(資料館)休館	**25** ●保健センター開放日(らっこくらぶ)…10:00～15:00[保] ●英会話教室④…19:00～20:30[公] ●図書館(資料館)休館	**26** ●図書館(資料館)休館	**27** ●保育所修了式(鮫川・渡瀬) ●図書館(資料館)休館 ●戸倉の里・福寿草まつり…9:30～14:00 西山字戸倉地内
30 ●保健センター開放日(らっこくらぶ)…10:00～15:00[保] ●図書館(資料館)休館	**31** ●図書館(資料館)休館	**4/1** ●図書館(資料館)休館	**2** ●図書館(資料館)休館	**3** ●図書館(資料館)休館
6 ●図書館再オープン(予定) ●小・中学校入学式、第1学期始業式	**7**	**8** ●幼稚園入園式	**9**	**10**

㊡＝休日当番医　[公]＝公民館　[保]＝保健センター　[資]＝歴史民俗資料館　[トレセン]＝農業者トレーニングセンター　[ほ]＝ほっとはうす・さめがわ

●お誕生　1月届け出分・敬称略



藤田（ふじた）　百美（ももみ）・女
平15.12.31生
住所…越虫
保護者…美光・伸枝



赤坂（あかさか）　陽（ひなた）・女
平16. 1. 2生
住所…茅
保護者…信太郎・ゆり



岡部（おかべ）　心南（ここな）・女
平16. 1.17生
住所…青生野
保護者…和彦・美智子



森（もり）　和澄美（かずみ）・女
平16. 1.19生
住所…中山
保護者…和也・祐子



藤田（ふじた）　侑伽（ゆうか）・女
平16. 1.19生
住所…水口
保護者…佳彦・トモ子



舟木（ふなき）　朝陽（あさひ）・男
平16. 1.21生
住所…石ノ花
保護者…正博・由香里

●おくやみ　1月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
辺栗	生田目長治	1. 1	94歳
彦次郎	杣田　ナミ	1.19	88歳

●人の動き　2/1現在・（　）は前月比

人口	4,647人（＋5）
男	2,303人（＋1）
女	2,344人（＋4）
世帯	1,118戸（±0）

●寄付・寄贈　1月受理分・敬称略

■社会福祉事業のために（金員）…生田目義也（辺栗）杣田之彦（彦次郎）村老人クラブ連合会（加藤信男会長）

※お誕生・おくやみ・寄付欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

●編/集/後/記

■「育ててくれた地域に恩返しをしよう」「できることは自分たちでやろう」。早朝の厳しい寒さの中、奉仕作業に取り組んだ西山青年会の皆さん（巻頭に関連記事）。■本当に寒い中での取材でしたが、なぜかホットな気持ちになりました。　（舟木）

3 生/活/情/報/カ/レ/ン/ダ/ー/ 月1日～4月10日

日	月
	3/1 ●図書館（資料館）休館日 ●春季全国火災予防運動（～7日）
7 ㊡藤田医院（棚倉町）☎33-2013 中島医院（塙町）☎43-0373 添田医院（石川町）☎26-2538 ●火災防御訓練…6：30～西山字大平地内、火防督励…9：00～村内全域	**8** ●4か月児・10か月児健診…13：30～塙厚生病院 ●図書館（資料館）休館日
14 ㊡あらまちクリニック（棚倉町）☎33-8018 木村医院（矢祭町）☎46-3528 中島病院（石川町）☎26-3415 ●納税表彰式…10：00～[公]	**15** ●図書館（資料館）休館日
21 ㊡杉山胃腸科外科皮膚科（棚倉町）☎33-7551 車田病院（塙町）☎43-1019 中島病院（石川町）☎26-3415	**22** ●幼稚園卒園式 ●図書館（資料館）休館（3/22～4/5予定）
28 ㊡和田医院（棚倉町）☎33-2012 金沢医院（矢祭町）☎46-2312 中島病院（石川町）☎26-3415 ●図書館（資料館）休館 ●戸倉の里・福寿草まつり…9：30～14：00　西山字戸倉地内	**29** ●図書館（資料館）休館
4 ㊡勝田医院（棚倉町）☎33-3008 東館診療所（矢祭町）☎46-3165 鹿岡産婦人科（石川町）☎26-2623 ●図書館（資料館）休館	**5** ●保育所入所式（鮫川・渡瀬） ●図書館（資料館）休館

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

半世紀の

絆

KIZUNA



健康づくりに心がけて、地域社会に少しでも貢献していきたいね。

鈴木一良さん[70歳]・**ツナ**さん[70歳]　赤坂中野字新宿在住・昭和28年４月結婚

私たちは、お互い二十歳のときに結婚したんだ。結婚後は、（一良さんが）青年会活動や早起き野球などを楽しみながら、結構気ままに過ごしてきたよ。とにかく、健康で金婚式を迎えられたことが、何より幸せだと感じているよ。

花の手入れが私たちの共通の趣味。また、現在はライオンズクラブや食生活改善推進員「ひまわりの会」など、二人ともボランティア活動をしながら、充実した日々を送っているよ。

これからも、健康づくりに心がけて、のんびりと気長に暮らしながら、地域社会に少しでも貢献していきたいね。　[談]



大好きな花に囲まれて生活する鈴木さん夫妻

金婚夫婦に50年を振り返っていただくコーナーです。

広報さめがわ
No.599 [平成16年３月１日発行]
発行／福島県鮫川村　編集／総務課
〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地５
TEL 0247-49-3111　FAX 0247-49-2651